

平成23年度
実施事業

事務事業名 **カーブミラー設置事業**

区分	No	名称					
章	2	自然とともに暮らすまち					
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり					
施策	3	交通安全の推進					
小分類	2	交通安全施設の整備					
主要な施策	1	交通安全施設の増設					
事務事業番号	001	事業開始年度	昭和 60 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	見通しの悪いカーブや交差点での交通事故防止を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	見通しの悪いカーブや交差点での交通事故防止を図るため、カーブミラーを設置した。 ・設置数：2箇所
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	町内会等からの設置要望があることから、今後においても必要箇所へカーブミラーを設置する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	・交通安全対策基本法 ・北海道交通安全基本条例 ・登別市交通安全条例

事業費（財源内訳）の推移

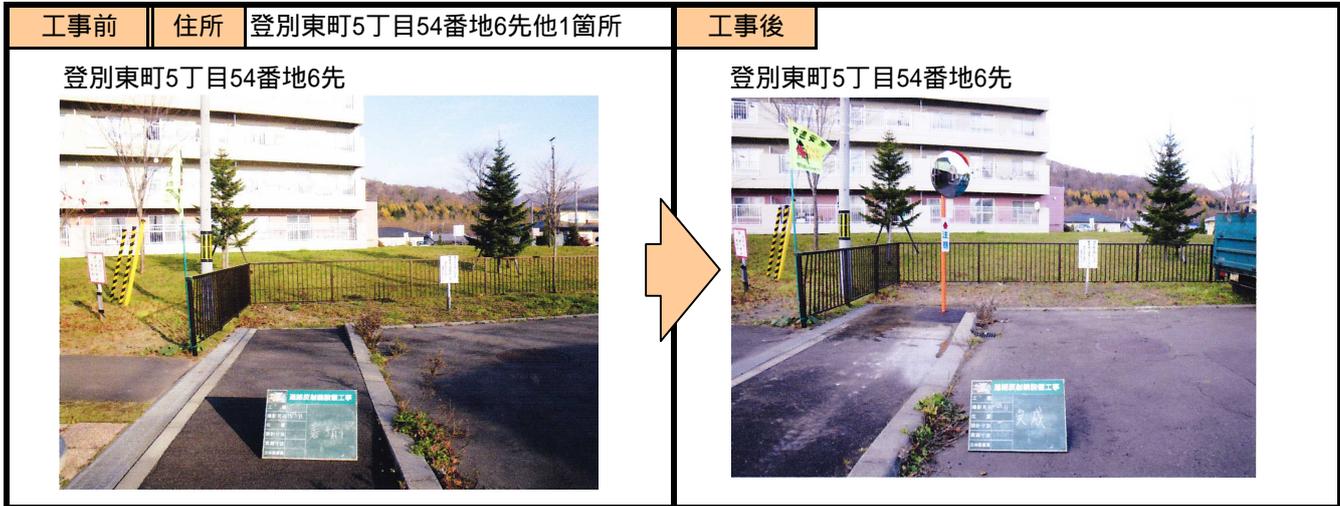
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	746	456	800	800	800
事業費 合計			746	456	800	800	800

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	市内の交通事故件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	182	143			
			目標値					
			実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 カーブミラーの設置は、交通安全対策特別交付金事業のひとつで、町内会等の要望に基づき危険な交差点等に設置するものであり、安全対策として妥当である。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 地区懇談会や、市民、町内会、各種団体等から具体的な意見・要望がある事業である。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 多額の経費が必要となるが、交通事故防止のためには、交通安全施設の設置は必要である。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 交通事故件数や交通事故傷者数が減少している。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	全国・全道で発生した交通事故がテレビ・新聞で報道されることで、交通事故が、より身近なものとして捉えられ、市民の交通安全への関心や無事故への意識の高まりは増しており、交通安全施設であるカーブミラーの設置要望は、町内会要望等を通じ非常に高いことから事業を継続することが必要である。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価

維持	備考	
-----------	----	--